

埼玉県内企業の「DX」、「生成

「生成AIを活用している」企業割合は前回調査より大きく上

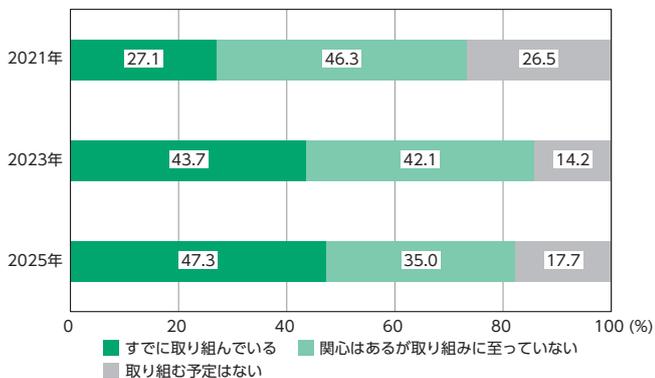
埼玉県内企業を対象に、「DX」、「生成AI」への取り組みについてアンケート調査を実施した。

✓ DXへの取り組み状況

DXへの取り組みについては、「すでに取り組んでいる」が47.3%、「関心はあるが取り組みに至っていない」が35.0%、「取り組む予定はない」が17.7%となった。DXに「取り組んでいる」企業は半数以下であった。

当財団では、2021年と2023年に同様の調査を行っており、DXに「すでに取り組んでいる」とするところはそれぞれ、27.1%、43.7%であり、しだいに取り組むところが増えている。ただし、2023年と比べて増加の勢いは緩やかとなっており、取り組む企業と取り組まない企業がある程度分かれてきていることもうかがえる。

● DXの取り組み状況



✓ DXに取り組む目的

「すでにDXに取り組んでいる」、および「関心はあるが取り組みに至っていない」企業のDXに取り組む目的は(複数回答)、「業務効率化・コスト削減」が最も多く93.8%、次いで「人手不足の解消」56.5%、「企業文化・働き方の変革」50.8%、「既存製品・サービスの高付加価値化」25.8%などとなった。人手不足が続くなか、DXについて「業務効率化・コスト削減」、「人手不足の解消」の効果に期待するところが多い。

業種別では、「企業文化・働き方の変革」で非製造業が製造業に比べ多く、「既存製品・サービスの高付加価値化」で製造業が非製造業に比べ多かった。

● DXに取り組む目的(複数回答)

単位:%

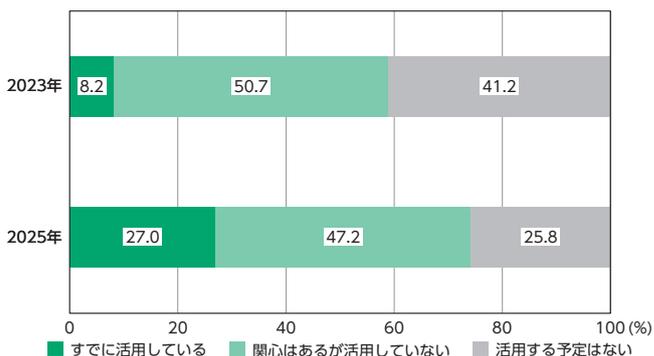
| | 全産業 | 製造業 | 非製造業 |
|------------------|------|------|------|
| 業務効率化・コスト削減 | 93.8 | 97.4 | 91.0 |
| 人手不足の解消 | 56.5 | 51.3 | 60.7 |
| 企業文化・働き方の変革 | 50.8 | 42.6 | 57.1 |
| 既存製品・サービスの高付加価値化 | 25.8 | 30.4 | 22.1 |
| ビジネスモデルの変革 | 21.5 | 18.3 | 24.1 |
| 新製品・サービスの創出 | 11.2 | 13.9 | 9.0 |

✓ 生成AIの活用状況

生成AIの活用状況については、「すでに活用している」が27.0%、「関心はあるが活用していない」が47.2%、「活用する予定はない」が25.8%となった。

同設問については、2023年に同様の調査を行っており、その時点では「すでに活用している」が8.2%、「関心はあるが活用していない」が50.7%、「活用する予定はない」が41.2%であり、生成AIの活用が徐々に広がっている。

● 生成AIの活用状況



✓ 生成AIに関して活用している、または、今後活用してみたいこと(複数回答)

生成AIを「すでに活用している」、「関心はあるが活用していない」企業の「活用している」、または「今後活用してみたいこと」ことは(複数回答)、「情報収集」が最も多く86.0%、次いで「文書作成」75.3%、「アイデ

AIへの取り組みについて

昇

ア出し」57.4%、「画像作成」31.9%、「言語翻訳」31.5%、「動画作成」11.5%などとなった。

業種別では、「情報収集」で非製造業が製造業に比べ多く、「言語翻訳」で製造業が非製造業に比べ多かった。

●生成AIに関して活用している、または、今後活用してみたいこと(複数回答)

単位:%

| | 全産業 | 製造業 | 非製造業 |
|--------|------|------|------|
| 情報収集 | 86.0 | 81.0 | 89.6 |
| 文書作成 | 75.3 | 71.0 | 78.5 |
| アイデア出し | 57.4 | 62.0 | 54.1 |
| 画像作成 | 31.9 | 33.0 | 31.1 |
| 言語翻訳 | 31.5 | 44.0 | 22.2 |
| 動画作成 | 11.5 | 11.0 | 11.9 |
| 音楽作成 | 2.1 | 1.0 | 3.0 |

✓生成AIを導入した効果

生成AIを「すでに活用している」企業に導入した効果を聞いたところ(回答企業数10社以下の項目を除く)、「期待を大きく超える効果があった」と「概ね想定通りの効果であった」を合わせた「効果があった」とするところは、「言語翻訳」が85.3%で最も多く、次いで「文書作成」83.6%、「情報収集」82.8%などとなった。

●生成AIを導入した効果

単位:%

| | 期待を大きく超える効果があった | 概ね想定通りの効果であった | 効果があった合計 |
|--------|-----------------|---------------|----------|
| 言語翻訳 | 20.6 | 64.7 | 85.3 |
| 文書作成 | 20.9 | 62.7 | 83.6 |
| 情報収集 | 17.1 | 65.7 | 82.8 |
| 画像作成 | 24.0 | 48.0 | 72.0 |
| アイデア出し | 16.4 | 49.1 | 65.5 |

✓生成AIを導入している事業上の分野(複数回答)

生成AIを「すでに活用している」企業の生成AIを導入した事業上の分野は(複数回答)、「法務」が41.7%で最も多く、次いで「顧客対応」38.1%、「マーケティング」

32.1%、「人事」26.2%、「製商品開発」21.4%、「販売」16.7%などとなった。

業種別では、「製商品開発」で製造業が非製造業に比べ多く、「販売」で非製造業が製造業に比べ多かった。

●生成AIを導入した事業上の分野(複数回答)

単位:%

| | 全産業 | 製造業 | 非製造業 |
|---------|------|------|------|
| 法務 | 41.7 | 44.4 | 39.6 |
| 顧客対応 | 38.1 | 38.9 | 37.5 |
| マーケティング | 32.1 | 33.3 | 31.3 |
| 人事 | 26.2 | 25.0 | 27.1 |
| 製商品開発 | 21.4 | 33.3 | 12.5 |
| 販売 | 16.7 | 13.9 | 18.8 |
| ファイナンス | 14.3 | 13.9 | 14.6 |
| 物流・流通 | 11.9 | 16.7 | 8.3 |

✓生成AIを導入した事業別の効果

生成AIを「すでに活用している」企業の事業別の生成AIを導入した効果は(回答企業数10社以下の項目を除く)、「期待を大きく超える効果があった」と「概ね想定通りの効果であった」を合わせた「効果があった」とするところは、「法務」が88.2%で最も多く、次いで「製商品開発」87.5%、「人事」80.0%、「ファイナンス」75.0%、「マーケティング」74.1%、「顧客対応」73.3%、「販売」66.6%となった。(吉嶺暢嗣)

●生成AIを導入した事業別の効果

単位:%

| | 期待を大きく超える効果があった | 概ね想定通りの効果であった | 効果があった合計 |
|---------|-----------------|---------------|----------|
| 法務 | 14.7 | 73.5 | 88.2 |
| 製商品開発 | 0.0 | 87.5 | 87.5 |
| 人事 | 10.0 | 70.0 | 80.0 |
| ファイナンス | 16.7 | 58.3 | 75.0 |
| マーケティング | 11.1 | 63.0 | 74.1 |
| 顧客対応 | 13.3 | 60.0 | 73.3 |
| 販売 | 8.3 | 58.3 | 66.6 |

2025年10月実施。対象企業数1,032社、回答企業数323社、回答率31.3%。